

令和7事業年度業務実績報告書
(資料編)

令和8年6月
独立行政法人大学入試センター

目次

【資料1】各種委員会の名称・目的・構成等一覧	1
【資料2】「問題作成部会委員」問題作成分科会別委員数等一覧	4
【資料3】「問題点検第一部会委員」問題点検分科会別委員数等一覧	4
【資料4】令和8年度 大学入学共通テスト（本試験）平均点等一覧	5
【資料5】令和8年度大学入学共通テスト 試験問題の訂正等	6
【資料6】令和7年度大学入学共通テスト問題評価・分析委員会委員数等一覧	6
【資料7】大学入学共通テストの試験問題の評価について	7
【資料8】令和8年度大学入学共通テスト 受験上の配慮許可者数	9
【資料9】令和7年度理事長裁量経費研究課題等一覧	10
【資料10】令和7年度科学研究費補助金等 採択研究課題等一覧	10
【資料11】研究成果への評価：学会等からの受賞	11
【資料12】令和7年度全国大学入学者選抜研究連絡協議会大会（第20回）概要	12
【資料13】公式ウェブサイト訪問件数等	13
【資料14】固定的な経費の削減状況	14
【資料15】契約に係る規程類について	14
【資料16】契約事務執行・審査体制	15
【資料17】令和7年度契約一覧	16
【資料18】一者応札・応募の契約一覧	23
【資料19】契約行為における監事監査のチェック体制図	25
【資料20】監事監査実績	26
【資料21】独立行政法人大学入試センターの情報セキュリティ体制	27

【資料22】独立行政法人大学入試センターにおける人事に関する基本計画について	28
--	----

【資料23】独立行政法人通則法に基づく情報公開実施状況（令和7年度）	29
------------------------------------	----

【資料24】令和7年度文部科学記者会発表日程	30
------------------------	----

【資料1】各種委員会の名称・目的・構成等一覧

名称	目的	構成
運営審議会	センターの事業計画その他重要事項について、理事長の諮問に応じて審議する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 25 人以内（大学の学長・教授、学識経験者、高等学校等関係者） ・ 年 2 回程度、各 1 日
大学入学共通テスト企画委員会	次の事項を調査審議する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 共通テストの実施計画、出題教科・科目、出題範囲等の基本方針の策定 ・ 共通テストの実施方法及び情報処理に係る基本方針の策定及びその他重要事項 ・ 共通テストの受験上の配慮に係る基本方針の策定及びその他重要な事項 ・ 共通テストの問題作成に係る基本方針の策定及びその他重要な事項 ・ その他理事長が必要と認める事項 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 30 人以内〔大学等の教授又は准教授、高等学校等教育関係者、学識経験者、実施方法部会部会長、配慮事項部会部会長、問題作成部会長及び副部会長、問題点検第一部会長、問題点検第二部会長等〕 ・ 年 4 回程度、各 1 日
実施方法部会	次の事項を調査審議する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施方法及び情報処理に係る基本方針案の策定 ・ 実施方法及び情報処理についての企画立案 ・ その他理事長が必要と認める事項 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 25 人以内〔大学等の教授又は准教授、高等学校教育関係者、学識経験者、配慮事項部会部会長等〕
配慮事項部会	次の事項を調査審議する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 受験上の配慮に係る基本方針案の策定 ・ 受験上の配慮についての企画立案 ・ その他理事長が必要と認める事項 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 25 人以内〔大学等の教授又は准教授、特別支援学校等教育関係者、学識経験者、実施方法部会部会長等〕
配慮事項審査分科会	共通テストにおける障害等のある入学志願者からの受験上の配慮申請に係る具体的審査を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 25 人以内〔配慮事項部会に属す委員、特別問題作成分科会に属す委員、その他〕

名称	目的	構成
問題作成部会	共通テストの問題作成に係る基本方針案の策定及び共通テストの問題作成等を行う。	・ 800 人以内
各科目の問題作成方針分科会	各科目の問題の作成に係る基本方針案の策定及び点検	・ 年 3 回程度、各 2 日
各科目の問題作成分科会	各科目の問題の作成	・ 500 人程度〔教科・科目別 22 部会×各部会 15～35 人程度（大学関係者、高等学校関係者）〕 ・ 年 15 回程度、各 3 日
各科目の問題作成方針分科会（高等学校等関係者）	試験問題の難易度及び出題範囲に関し、専門的立場から点検を行う。	・ 60 人程度〔各科目 2～4 人程度〕（高等学校等関係者） ・ 年 2 回程度、各 3 日
問題点検第一部会	問題作成部会が作成した共通テストの問題について、その構成、内容、解答及び用字用語等の点検、照合を行う。	・ 160 人程度〔教科・科目別 19 部会×8 人程度〕 ・ 年 3 回程度、各 3 日
問題点検第二部会	問題作成部会が作成した共通テストの問題について、その形式、表現及び各科目間の整合性、重複等を総合的に点検、照合を行う。	・ 30 人以内〔試験・研究統括官、試験・研究副統括官、大学等の教授等〕 ・ 年 4 回程度、各 4 日
新教育課程試験問題調査研究特別部会	令和 4 年度から学年進行により実施される新しい学習指導要領に対応し、令和 7 年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト以降の試験に関し、問題作成に係る基本方針案の策定に当たり、特に検討が必要な教科・科目について調査研究を行う。	・ 250 人以内〔試験・研究統括官、試験・研究副統括官、問題作成部会の委員又は臨時委員の経験者、教科科目第一委員会の委員又は臨時委員の経験者、大学等の教授又は准教授、学識経験者、その他〕
各出題教科・科目の研究分科会	出題教科・科目等別に調査研究を行う。	
C B T 活用検討部会	C B T 導入に向けた実施方法等に係る基本方針、試験問題作成、試験運用システム及び試験実施体制の在り方等について検討を行う。	・ 20 人以内〔大学等の教授又は准教授、高等学校等教育関係者、学識経験者、その他〕
得点調整検討部会	調査の対象となる科目、調整を行う場合の調整方法、調整を行う場合の得点差等の具体的事項を検討する。	・ 15 人以内〔学識経験者 7 人以内、センター教員 4 人以内、その他〕

名称	目的	構成
大学入学共通テスト問題評価・分析委員会	試験問題の内容、程度、出題方法等について分析・評価する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 150人程度〔試験・研究統括官、問題作成分科会の各分科会長及び副分科会長（特別問題作成分科会長を除く）、高等学校関係者95人以内〕 ・ 年2回程度、各2日
得点調整判定委員会	共通テストの結果における得点調整の要否を判定する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 9人以内〔大学入試センター運営審議会の構成員（現況：国立大学4人、公立大学2人、私立大学2人）〕 ・ 年1回、1日
得点調整判定専門委員会	専門的な立場から試験の結果を分析・整理し、得点調整の要否の判定に必要な基礎資料を準備する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 11人以内（現況：センター教員等4人、学識経験者5人） ・ 年1回、1日
全国大学入学者選抜研究連絡協議会企画委員会	全国大学入学者選抜研究連絡協議会の企画実施に係る具体的事項を検討する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 25人以内 ・ 年3回、各1日
財務経営委員会	財務及び経営に関し必要な事項を検討する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 8人程度〔理事、試験・研究統括官、試験・研究副統括官、試験・研究統括補佐官、部長、その他〕

【資料2】「問題作成部会委員」問題作成分科会別委員数等一覧

分科会名		委員数	開催回数	開催日数
国語		26	16	64
地理		25	18	78
歴史	歴史総合	22	16	34
	日本史	19	17	50
	世界史	23	16	48
公民	公共	21	14	54
	倫理	20	16	58
	政治・経済	18	18	58
数学Ⅰ		21	23	66
数学Ⅱ		17	21	63
物理		35	21	65
化学		26	16	63
生物		26	17	58
地学		26	16	44
英語	リーディング	23	14	48
	リスニング	21	15	50
ドイツ語		25	18	54
フランス語		22	12	43
中国語		15	14	45
韓国語		15	14	41
情報		20	20	59
特別		31	27	80
合計		497	382	1,223

【資料3】「問題点検第一部会委員」問題点検分科会別委員数等一覧

分科会名		委員数	開催回数	開催日数
国語		11	6	14
地理		7	3	15
歴史総合		3(3)	3	7
日本史		9	3	9
世界史		8	3	9
公共・政経		12	3	12
公共・倫理		8	3	15
数学		12	3	10
物理		9	3	10
化学		7	4	14
生物		8	3	12
地学		10	3	9
英語		9	3	15
ドイツ語		4	3	9
フランス語		4	3	7
中国語		6	3	12
韓国語		4	3	12
情報		7	6	23
採点方法等		11	2	2
合計		149	63	216

※ () 内は兼任者数(外数)であり、「合計」欄には計上していない。

【資料4】令和8年度 大学入学共通テスト（本試験）平均点等一覧

受験者数 463,535人									
教科名	科目名	出題範囲	受験者数	平均点	最高点	最低点	標準偏差		
国語 (200点)	国語		438,158	118.37 (58.18)	200 (100)	0 (0)	32.87 (16.43)		
地理歴史 (100点)	地理総合、地理探究		143,237	81.87	100	0	16.14		
	歴史総合、日本史探究		124,431	82.29	100	0	17.47		
	歴史総合、世界史探究		78,710	80.88	100	0	18.04		
	地理総合／歴史総合／公共		8,188	51.73	100	0	16.18		
	※右記出題範囲から2つを選択解答 (各50点)	地理総合	6,355	24.27 (48.54)	50 (100)	0 (0)	9.17 (18.34)		
	歴史総合	4,477	24.98 (49.96)	50 (100)	0 (0)	8.54 (17.08)			
	公共	5,342	29.27 (58.54)	50 (100)	0 (0)	8.98 (17.96)			
公民 (100点)	公共、倫理		30,965	84.24	100	0	15.67		
	公共、政治・経済		143,238	83.59	100	0	17.54		
	地理総合／歴史総合／公共（再掲）		8,188	51.73	100	0	16.18		
	※右記出題範囲から2つを選択解答 (各50点)	地理総合 (再掲)	6,355	24.27 (48.54)	50 (100)	0 (0)	9.17 (18.34)		
		歴史総合 (再掲)	4,477	24.98 (49.96)	50 (100)	0 (0)	8.54 (17.08)		
	公共 (再掲)	5,342	29.27 (58.54)	50 (100)	0 (0)	8.98 (17.96)			
数学	数学① (100点)	数学Ⅰ，数学A	343,000	47.20	100	0	19.41		
	数学② (100点)	数学Ⅰ	3,280	28.53	88	0	14.01		
理科 (100点)	※右記出題範囲から2つを選択解答 (各50点)	物理基礎／化学基礎／ 生物基礎／地学基礎	135,176	84.48	100	0	17.92		
		物理基礎	18,486	34.68 (69.36)	50 (100)	0 (0)	11.26 (22.52)		
		化学基礎	89,094	28.58 (57.16)	50 (100)	0 (0)	10.60 (21.20)		
		生物基礎	114,187	36.48 (72.92)	50 (100)	0 (0)	9.57 (19.14)		
		地学基礎	48,438	28.17 (56.34)	50 (100)	0 (0)	8.86 (17.72)		
		物理	145,203	45.55	100	0	20.24		
		化学	181,584	56.86	100	0	23.17		
	生物	56,314	55.01	100	0	19.20			
	地学	2,701	44.29	100	0	18.10			
外国語 (100点)	英語(リーディング)		455,114	82.81	100	0	23.72		
	英語(リスニング)		453,425	54.65	100	0	18.40		
外国語 (200点)	ドイツ語		104	109.87 (54.93)	197 (98)	36 (18)	43.25 (21.82)		
	フランス語		87	111.93 (55.96)	196 (98)	0 (0)	44.22 (22.11)		
	中国語		888	145.88 (72.94)	200 (100)	29 (14)	33.59 (18.79)		
	韓国語		178	140.04 (70.02)	200 (100)	37 (18)	47.68 (23.84)		
情報 (100点)	情報Ⅰ		305,202	56.59	100	0	15.72		

(注1) 平均点、最高点、最低点及び標準偏差欄の()内の数値は、100点満点に換算したものの。

【資料5】令和8年度大学入学共通テスト 試験問題の訂正等

箇所		訂正内容等		採点上の措置	
本試験	第1日目 国語	国語 2-5-p.25 選択肢	誤 ② 少年期と現在の両方で、「ホットケーキ」(20行目、32行目)や…	なし	
			正 ② 少年期と現在の両方で、「ホットケーキ」(19行目、20行目、32行目)や…		
	第2日目 理科	化学 2-3-p.111 上から4~5行目	誤 ある温度において、…。式(1)の反応速度式が…	なし	
			正 ある一定の温度において、…。 N_2O_5 の分解反応の反応速度式が…		
			生物 3-1-p.147 上から3行目	誤 …変異体(以下、変異体X)の卵から発生した幼虫は、…	なし
				正 …変異体(以下、変異体X)では、 <u>幼虫</u> は、…	
追・再試験	第1日目 外国語	韓国語 2-A-p.9 上から7行目	誤 …가. 독서 토론회…	なし	
			正 …가. <u>우리</u> 독서 토론회…		

【資料6】令和7年度大学入学共通テスト問題評価・分析委員会委員数等一覧

令和8年1月1日現在

評価すべき試験問題の科目等	自己点検・分析・評価分科会	外部評価分科会
分科会長	0(1)	0(1)
国語	2	5
地理総合, 地理探究 「地理総合」	3	5
歴史総合, 日本史探究	2(2)	4
歴史総合, 世界史探究	2(2)	4
「歴史総合」	2	0(8)
公共, 倫理	2(3)	4(4)
公共, 政治・経済	3(3)	4(4)
「公共」	3	4
数学Ⅰ, 数学A 数学Ⅰ	3	4
数学Ⅱ, 数学B, 数学C	3	4
「物理基礎」 物理	2	5
「化学基礎」 化学	2	5
「生物基礎」 生物	3	4
「地学基礎」 地学	2	4
英語(リーディング)	2	4
英語(リスニング)	2	4
ドイツ語	2	2
フランス語	2	2
中国語	2	2
韓国語	2	2
情報Ⅰ	2	4
合計	48	76

※()内は兼任者数(外数)であり、「合計」欄には計上していない。

【資料7】大学入学共通テストの試験問題の評価について

大学入学共通テストは、「大学への入学志願者を対象に、高等学校の段階における基礎的な学習の達成の程度を判定し、大学教育を受けるために必要な能力について把握することを目的」とした試験として実施されている。このことに照らし、大学入学共通テスト問題評価・分析委員会（外部評価分科会及び自己点検・分析・評価分科会）は、大学入学共通テストの試験問題について、以下の項目別（8項目）及び総合的観点から適切であったかを、枠内の評定値により4段階で評価した。

評価結果は、次ページのとおりである。

1. 項目別評価

- (1) 問題作成方針を踏まえて、知識の理解の質を問う問題や思考力・判断力・表現力等を発揮して解くことが求められる問題の出題も含め、バランスのとれた出題となっているか（出題のねらい）
- (2) 高等学校学習指導要領の範囲内から出題されており、特定の分野・領域に極端に偏っていないか（出題範囲※¹）
- (3) 問題で使用される資料等※²が、特定の教科書に偏っていないか（題材）
- (4) 高等学校における学習の過程を意識した問題の場面設定※³がなされた問題が含まれており、その場面設定が、教科・科目の本質に照らし必然性のある形で出題されているか（問題の場面設定）
- (5) 試験問題の構成（設問数、配点、設問形式等）は適切であるか（問題構成）
- (6) 文章表現・用語は適切であるか（表現・用語）
- (7) 問題の難易度は適正であるか（難易度）
- (8) 得点のちらばりは適正であるか（得点のちらばり）

※1 地理歴史、公民における『地理総合／歴史総合／公共』及び理科における『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』は、一つの出題科目の中で複数の出題範囲を選択解答することとしているが、ここでは、その中での出題範囲を指すものである

※2 教科書で扱われていない初見の資料等を扱う場合、資料そのものに対する知識を問うのではなく、資料を活用して高等学校で身に付けた知識や思考力等を問うための題材として扱うことを前提としている

※3 授業において生徒が学習する場面や、社会生活や日常生活の中から課題を

発見し解決方法を構想する場面、資料やデータ等を基に考察する場面など

2. 総合評価

1. の項目別評価を踏まえて、総合的に評価すると、大学入学共通テストの試験問題として適切であったか

（評定値）

- | | |
|---|------------|
| 4 | あてはまる |
| 3 | ある程度あてはまる |
| 2 | あまりあてはまらない |
| 1 | あてはまらない |

「出題教科・科目別」の評価結果について

(令和8年度大学入学共通テスト(本試験))

教科	科目 (出題範囲)	外部評価分科会								自己点検・分析・評価分科会										
		(1) 出題の ねらい	(2) 出題 範囲	(3) 題材	(4) 問題の 場面設定	(5) 問題 構成	(6) 表現・ 用語	(7) 難易 度	(8) 得点の ゆとり 感	総合 評価	(1) 出題の ねらい	(2) 出題 範囲	(3) 題材	(4) 問題の 場面設定	(5) 問題 構成	(6) 表現・ 用語	(7) 難易 度	(8) 得点の ゆとり 感	総合 評価	
国語	国語	4	4	4	4	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
地理歴史、 公民	地理総合、地理探究	4	4	4	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
	歴史総合、日本史探究	4	3	4	4	4	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
	歴史総合、世界史探究	4	3	4	4	3	4	4	4	4	4	3	4	4	4	4	4	4	4	
	公共、倫理	4	4	4	4	3	3	4	4	4	3	4	4	4	4	4	4	4	4	
	公共、政治・経済	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	4	4	4	4	
	地理総合/歴史 総合/公民	地理総合	4	3	4	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
		歴史総合	4	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
公共		4	4	4	4	4	3	4	4	4	4	4	4	4	3	4	4	4	4	
数学	数学Ⅰ、数学A	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
	数学Ⅰ	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
	数学Ⅱ、数学B、数学C	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
理科	物理基礎/化学 基礎/生物基礎 /地学基礎	物理基礎	4	4	4	4	4	4	4	3	4	4	4	4	4	4	3	3	4	
		化学基礎	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
		生物基礎	4	4	4	4	4	3	3	4	4	4	4	4	4	4	3	3	4	4
		地学基礎	4	3	3	4	3	3	3	4	3	4	3	4	4	3	4	3	4	4
	物理	4	4	4	3	3	3	3	4	3	4	4	4	4	3	3	2	3	3	
	化学	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
	生物	4	4	4	4	4	3	4	4	4	4	4	4	4	3	4	4	4	4	4
	地学	3	3	4	4	4	3	4	4	4	4	3	4	4	4	4	4	3	4	4
外国語	英語(リーディング)	4	4	4	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
	英語(リスニング)	4	4	4	4	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	4	4	4
	ドイツ語	3	3	3	4	3	4	4	3	3	4	3	3	4	3	3	3	4	3	3
	フランス語	4	4	4	4	4	4	3	4	4	4	4	4	3	4	3	4	4	4	4
	中国語	4	4	4	4	4	4	4	3	4	4	4	4	4	4	4	4	3	4	4
韓国語	2	2	4	4	3	4	3	3	3	4	4	4	4	3	4	4	3	4	4	
情報	情報Ⅰ	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
総合評価の平均										3.9									3.9	

【資料 8】令和 8 年度大学入学共通テスト 受験上の配慮許可者数

1 障害区分別内訳

障害区分	令和 8 年度共通テスト 許可者数	令和 7 年度共通テスト 許可者数
視覚障害	138 (0)	124 (3)
聴覚障害	561 (13)	539 (9)
肢体不自由	317 (3)	311 (1)
病弱	1,176 (6)	1,142 (2)
発達障害	513 (8)	541 (4)
その他	1,676 (8)	1,744 (8)
合計	4,381 (38)	4,401 (27)

(注 1) 重複障害の者は、程度が重い障害区分に計上。

(注 2) ()は、出願しなかった者を外数で示す。

2 配慮事項別内訳

障害区分	配慮事項	令和 8 年度共通テスト 許可者数	令和 7 年度共通テスト 許可者数	
視覚障害	点字解答及び時間延長(別室)	連続方式	6	7
		音止め方式	3	4
	文字解答及び時間延長(別室)	連続方式	48	34
		音止め方式	11	10
	文字解答(別室)		3	4
	拡大文字問題冊子の配付	14 ポイント	61	40
22 ポイント		23	21	
その他(拡大鏡等の持参使用、座席指定等)		155	183	
聴覚障害	リスニングの免除	182	177	
	CD プレーヤーのスピーカーから直接音声を聞く方式等	252	220	
	手話通訳士等の配置及び注意事項等の文書による伝達	41	45	
	注意事項等の文書による伝達	205	196	
	その他(補聴器又は人工内耳の装用、座席指定等)	589	556	
肢体不自由	チェック解答及び時間延長(別室)	連続方式	30	29
		音止め方式	5	10
	チェック解答(別室)	31	22	
	代筆解答及び時間延長(別室)	連続方式	2	5
		音止め方式	2	5
	代筆解答(別室)	3	1	
	別室の設定	24	37	
	座席指定	108	101	
その他(車椅子の持参使用等)※2	807	873		
病弱	別室の設定	339	306	
	座席指定	659	677	
	その他(車椅子の持参使用等)※2	755	780	
発達障害	マークシート解答及び時間延長(別室)	連続方式	38	67
		音止め方式	9	18
	チェック解答及び時間延長(別室)	連続方式	10	14
		音止め方式	4	3
	チェック解答(別室)	47	43	
	拡大文字問題冊子の配付	14 ポイント	44	46
		22 ポイント	12	14
別室の設定	265	252		
その他(注意事項等の文書による伝達等)※3	269	307		
その他	別室の設定	1,006	974	
	座席指定	431	454	
	その他(車椅子の持参使用等)※2	584	615	
合計		7,063	7,150	

※1 配慮事項が複数の項目に該当する受験者がいるため、本表の合計と左記の障害別内訳の合計とは一致しない。

※2 他に、試験場への乗用車での入構、杖の持参使用、付添者の同伴等

※3 他に、付添者の同伴、座席指定等

【資料 9】令和 7 年度理事長裁量経費研究課題等一覧

通番	区分*	研究課題	配分額 (千円)	期間
①	調査研究	大学入学者選抜におけるフェアネス・マネジメントに関する研究	500	R6～R7
②	調査研究	リスニング音源作成支援のための高品質テキスト音声合成を用いた調査研究	502	R6～R7
③	調査研究	受験者 BYOD 端末への CBT 環境配布方法パッケージの確立と試行実験	753	R6～R7
④	調査研究	試験問題形式と解答プロセスの関係に関する基礎的研究	258	R6～R7
⑤	調査研究	大学入学後の学修状況と共通試験との関連に関する追跡調査研究	1,265	R6～R7
⑥	調査研究	令和 7 年度大学入学共通テスト「情報」の詳細分析	773	R7
⑦	業務	令和 7 年度大学入学共通テストの試験情報データの整備と活用に関する業務	624	R7
⑧	調査研究	新しい時代の入学者選抜を駆動するための大学間連携による CBT のスタンダード開発	3,168	R6～R8
合計			7,843	

※ 業務は、共通テストの実施に付帯する調査研究や基盤的なデータ整備等の調査研究

【資料 10】令和 7 年度科学研究費補助金等 採択研究課題等一覧

〈科学研究費補助金〉

通番	研究種目	研究課題	小区分	R 7 内定額 (千円)	期間	継続・ 新規の別
①	基盤研究 (A)	多様な受験者の高度テスト配慮を実現した CBT 環境の開発と教育テスト実施改善の研究	教育学及びその関連分野	2,000	R3～R7	継続
②	基盤研究 (C)	教科科目型試験と能力評価型試験の構成概念的相互関係に関する実証的基礎研究	高等教育学 関連	600	R3～R7	継続
③	基盤研究 (C)	客観テストの問題作成過程における作成指針と問題のレビューに関する研究	教育心理学 関連	500	R3～R7	継続
④	挑戦的研究 (萌芽)	異種テスト得点を等化するための手法の開発と評価	教育学およびその関連 分野	3,550	R4～R7	継続
⑤	基盤研究 (B)	手書き文字認識を組み込んだ記述式自動採点システムの開発と改良	学習支援シ ステム関連	4,400	R5～R7	継続
⑥	基盤研究 (C)	受検者特性を考慮した多肢選択式非教科・科目型試験の妥当性に関する研究	教育工学関 連	900	R5～R7	継続
⑦	基盤研究 (C)	大学入学者選抜における多面的総合的な評価に関する研究：ルーブリックの活用を中心に	高等教育学 関連	700	R5～R7	継続
⑧	基盤研究 (C)	音声コミュニケーション能力測定における解答過程・項目特性の検証と問題作成支援	教育心理学 関連	1,000	R6～R9	継続
⑨	基盤研究 (C)	英国高等教育における社会経済的弱者のための「学生ライフサイクルアプローチ」の研究	高等教育学 関連	1,400	R6～R8	継続
⑩	基盤研究 (C)	数理計画法を用いた 2 段階等質適応型テストの提案	学習支援シ ステム関連	800	R6～R8	継続
⑪	若手研究	選択肢トピックの定性・定量分析と共通尺度化による順序多肢選択式問題の開発と検証	教育心理学 関連	600	R6～R10	継続
⑫	研究活動スタート支援	大学の学びに必要な基本的能力を測る試験の分析法開発を通じた妥当性検証	教育学およびその関連 分野	1,000	R6～R7	継続
⑬	基盤研究 (C)	公的試験の得点調整モデル構造的/非構造的欠測のある他母集団分析 software の開発	教育心理学 関連	500	R7～R9	新規
⑭	基盤研究 (C)	全入時代の高大接続における学力不足・ミスマッチ入学の課題への対応方策の探究	教育工学関 連	1,000	R7～R11	新規
⑮	特別研究員 奨励費	ZDD を用いた糖質適応型テストの開発	学習支援シ ステム関連	800	R6～R7	継続
合計		新規申請 5 件、採択 2 件（採択率 40.0%） 継続 13 件 合計 15 件		19,750		

【資料 11】 研究成果への評価：学会等からの受賞

氏名	受賞
木村 拓也	大学教育学会 JACUE セレクション 2025 (2024 年度認定図書) ジョン・オーブリー・ダグラス著 (荒井克弘・田中義郎監訳、木村拓也ほか訳) (2023) 『カリフォルニア州高等教育マスタープラン：アメリカ大学モデルの創出 1850-1960』 玉川大学出版部

【資料 12】 令和 7 年度全国大学入学者選抜研究連絡協議会大会（第 20 回）概要

1. 期 日：令和 7 年 5 月 29 日～5 月 31 日
2. 場 所：29 日～30 日：一橋講堂オンライン開催
31 日：東京大学駒場キャンパス
3. 共 催：東京大学
4. 大会概要
 - 1) 全体会 1（大学入試センターセミナー）
テーマ：生成 AI の入試活用
 - ・生成 AI の入試活用の趣旨説明
 - ・大学入試業務における生成 AI の活用可能性と範囲
－自動作問技術に関わる学術的・社会的な動向を踏まえて－
 - ・企業における生成 AI の利用、ガイドライン、セキュリティ
 - ・AI 時代におけるテスト開発の未来～Finetune Generate®の事例から見るイノベーション、倫理、セキュリティの両立における教育機関の対応～
 - 2) 全体会 2
テーマ：入研協の温故知新：入研協に期待したこと、これから期待すること
 - ・入研協の温故知新：入研協に期待したこと、これから期待すること
 - ・入研協が目指したもの、成し遂げたこと
 - ・高等教育（入試）研究で入研協が果たした役割
 - ・高等学校関係者にとっての入研協の意義は
 - ・文部科学省が入研協に期待したこと、期待すること
～直近の入試状況を踏まえながら～
 - 3) 全体会 3
テーマ：新課程の高校教育と大学入試の課題－「探究」に焦点を当てて
 - ・新課程高校教育と大学入試の課題－「探究」に焦点を当てて
 - ・何のための探究か～これからの高大接続について考える～
 - ・高校での探究学習の実態
 - ・高校の探究学習の実態調査と探究学習で育成される非認知能力の測定方法

・新課程や探究の主旨に即した学習のあり方と探究学習の過程や成果の評価

4) 研究会（オープンセッション）

- 第 1 セッション（発表 6 件）
- 第 2 セッション（発表 6 件）
- 第 3 セッション（発表 5 件）
- 第 4 セッション（発表 6 件）
- 第 5 セッション（発表 5 件）

研究会（クローズドセッション）

- 第 1 部（発表 6 件）
- 第 2 部（発表 6 件）

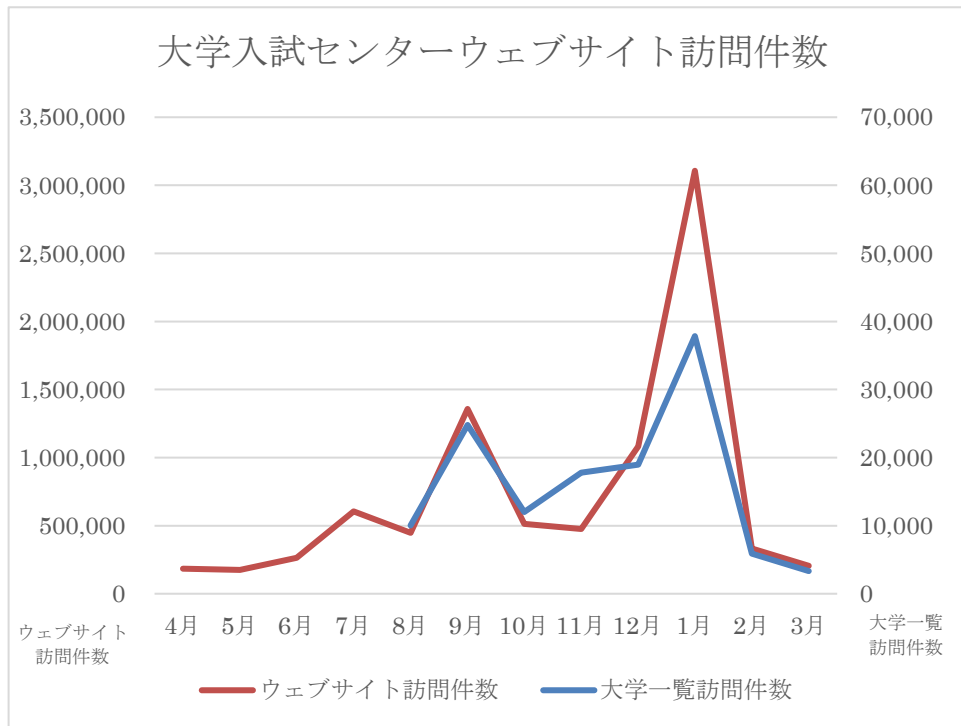
【資料 13】 公式ウェブサイト訪問件数等

○ 大学入試センターウェブサイト訪問件数

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和7年度	183,088	174,869	267,766	604,295	446,165	1,357,785	512,173	474,696	1,083,295	3,106,857	330,943	204,688	8,746,620

○ 参加大学情報の大学一覧への訪問件数（令和7年8月8日提供開始）

年度	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和7年度	10,013	24,800	11,980	17,801	18,953	37,844	5,879	3,325	130,595



【資料 14】 固定的な経費の削減状況

固定的な経費の削減状況

(単位:千円)

	令和2年度 (基準額)	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
一般管理費・事業費 (A)	13,076,414	11,641,658	11,346,849	11,174,217	12,226,557	11,491,408
うち変動費 (B)	3,853,614	3,826,694	3,716,887	3,431,530	3,613,930	3,500,116
大学配分実施経費	3,425,956	3,411,473	3,296,415	3,020,655	3,183,716	3,255,744
志願票データ入力・精査	61,270	61,270	69,616	69,616	75,288	1,210
検定料振込手数料	140,119	128,508	128,248	126,058	129,919	0
成績通知経費	226,269	225,443	222,608	215,201	225,007	243,162
うち特殊業務経費 (C)	1,617,190	199,991	64,453	202,224	1,066,272	434,347
新型コロナウイルス感染症対応	677,303	129,580	6,348	0	0	0
施設・設備整備費	12,991	25,369	27,001	22,099	171,716	62,005
受託研究費等	5,792	8,998	7,710	17,548	12,654	0
英語リスニング見本用音声機器	0	18,775	0	0	0	0
パソコン用ソフトウェアの更新	0	6,820	8,491	7,612	7,735	7,448
講師寄宿舎境界確定等・地歴調査	0	5,940	0	0	0	0
謝金システム改修	0	4,510	0	0	0	0
試験問題冊子等輸送用コンテナの更新	57,057	0	0	39,809	68,244	0
制度改正等に伴う試験情報システム改修費	274,904	0	0	0	0	0
英語成績提供システム及び記述式試験の導入見送りに伴う損害賠償	589,143	0	0	0	0	0
防犯カメラシステム機器の購入	0	0	4,400	0	0	0
ノート型パソコン50台の購入	0	0	9,570	0	0	0
寄宿舎物品の移動・廃棄	0	0	933	0	0	0
電子出願システム開発業務、L2VPN設定・構築業務、Microsoft Azure提供業務	0	0	0	43,472	0	0
ノート型パソコン510台の購入	0	0	0	65,452	0	0
紙枚数計数機2台	0	0	0	2,486	0	0
事業第一課・事業第三課事務室移転に伴う経費	0	0	0	2,283	0	0
個室ワークスペース(2台)の購入	0	0	0	1,463	0	0
紙枚数計数機7台	0	0	0	0	8,168	0
電子出願システム開発等業務、Microsoft Azure提供業務	0	0	0	0	711,668	0
「英語(リスニング)」用音源制作に係る録音関係機材の更新	0	0	0	0	10,384	0
経過措置対応印刷経費(補助金充当分を除く)	0	0	0	0	74,177	0
分科会用オフィスチェア(150脚)の購入	0	0	0	0	1,526	0
経過措置終了に伴う試験情報システム改修費(前中期目標期間繰越積立金取崩分)	0	0	0	0	0	211,429
電子出願システム本番環境構築業務・追加調査等	0	0	0	0	0	9,834
電子出願システム改修業務	0	0	0	0	0	139,590
電子出願システムの問合わせ対応専門人材派遣	0	0	0	0	0	4,041
うち退職手当 (D)	51,726	83,113	36,224	22,076	64,194	84,236
固定的な経費 (A) - (B) - (C) - (D)	7,553,884	7,531,861	7,529,284	7,518,386	7,482,161	7,472,709
対令和2年度	増減額	▲ 22,023	▲ 24,600	▲ 35,498	▲ 71,723	▲ 81,175
	効率化		▲ 0.29%	▲ 0.33%	▲ 0.47%	▲ 0.95%

【資料 15】 契約に係る規程類について

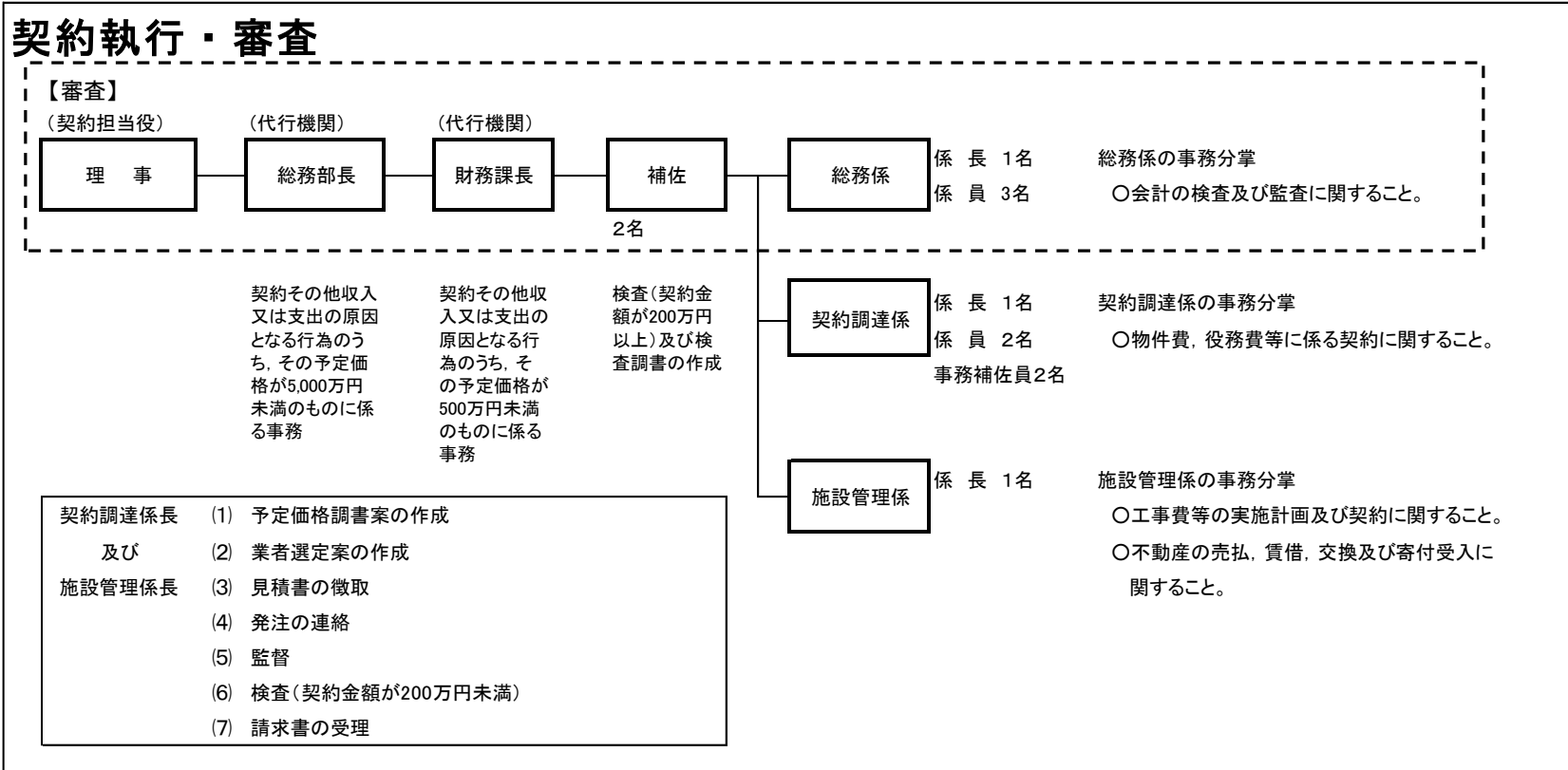
契約に関する基準(包括的随意契約条項、公益法人随意契約条項、指名競争契約限度額、随意契約限度額、予定価格の作成を省略できる金額、公告期間)は、国と同基準としている。

事項	国の基準		大学入試センターの基準	
包括的随意契約条項	条項無		同左	
公益法人随意契約条項	条項無		同左	
指名競争契約限度額	工事又は製造の請負契約	予定価格が	800万円を超えない	同左
	財産の買入契約	予定価格が	500万円を超えない	同左
	物件の借入契約	予定賃借料の年額又は総額が	300万円を超えない	同左
	財産の売払契約	予定価格が	200万円を超えない	同左
	物件の貸付契約	予定賃貸料の年額又は総額が	100万円を超えない	同左
	その他契約	予定価格が	350万円を超えない	同左
随意契約限度額	工事又は製造の請負契約	予定価格が	400万円を超えない	同左
	財産の買入契約	予定価格が	300万円を超えない	同左
	物件の借入契約	予定賃借料の年額又は総額が	150万円を超えない	同左
	財産の売払契約	予定価格が	100万円を超えない	同左
	物件の貸付契約	予定賃貸料の年額又は総額が	50万円を超えない	同左
	その他契約	予定価格が	200万円を超えない	同左
予定価格の作成を省略できる金額	予定価格が250万円を超えない随意契約		同左	
公告期間	入札期日の前日から起算して10日前		同左	

〔主な契約に係る規程〕

- ・独立行政法人大学入試センター会計規則
- ・独立行政法人大学入試センター契約事務取扱規則

契約事務執行・審査体制



契約監視委員会

契約内容の点検等

監事 2名
外部有識者 3名

会計内部監査

理事長に命じられた監査員により、下記事項を監査する。

- | | |
|--------------------------|---|
| (1) 会計経理に関する規則等の適用に関する事項 | (7) 契約に関する事項 |
| (2) 予算決算に関する事項 | (8) 旅費に関する事項 |
| (3) 収入支出に関する事項 | (9) 寄附金に関する事項 |
| (4) 債権に関する事項 | (10) 帳簿及び証拠書類に関する事項 |
| (5) 物品に関する事項 | (11) 科学研究費補助金等のセンターが経理を委託された経費の経理に関する事項 |
| (6) 固定資産に関する事項 | (12) その他理事長が必要と認める事項 |

【資料 17】 令和 7 年度契約一覧

○一般競争入札

No	契約件名	契約の相手方	契約方式	契約金額(円)	応札(応募)者数	制限的な応札条件(主なもの)	備考
1	大学入学共通テストに係る電子出願システム保守業務	富士通Japan株式会社	一般競争入札	284,856,000	1	大学入学共通テストに係る電子出願システムの保守を行うものであり、業務が適切に行われないと、試験の実施に多大な影響を与えること、また、個人情報の取扱いについて適切な体制が取られていることが必要であるため、①大学入試センター情報統括責任者(CIO)補佐官及び支援スタッフ業務についてCIO補佐官等が現に所属する又は過去2年間に属していた事業者及びその関連事業者でないこと、②大学入試センターIT推進支援業務を受託し、係る役務提供により本調達を支援した事業者でないこと、③「ISO9001:2015」の認証を受けていること又は同等の品質管理体制を保持していること、④「ISO/IEC27001:2013 認証(国際標準)/JIS Q27001:2014 認証(日本工業標準)」又は「ISO/IEC27001:2022 認証(国際標準)/JIS Q27001:2023 認証(日本工業標準)」の認証を取得していることを要件とした。	政府調達 総合評価
2	大学入学共通テストに係る電子出願システム Microsoft Azureライセンス提供業務一式	株式会社フォーカスシステムズ	一般競争入札	188,045,000	1	無	政府調達 単価契約 支出予定額
3	令和8年度大学入学共通テスト志願者専用電話対応業務及び受験上の配慮申請処理業務等における労働者派遣契約	株式会社アーデントスタッフ	一般競争入札	10,737,610	9	個人情報の取り扱いについて適切な体制が取られていることが必要であるため、プライバシーマーク、ISMS等の認証を取得しており、適切な情報セキュリティが確保されている体制を有していることを要件とした。	単価契約
4	試験情報システム改修業務及び運用支援業務	富士通Japan株式会社	一般競争入札	365,750,000	1	本調達は、志願票受付から成績通知書の送付に至る一連の試験業務を行うためのシステムに関し、令和8年度大学入学共通テスト実施に向けた開発及び運用支援業務を行うものであり、業務が適切に行われないと、業務に多大な影響を与えること、また、個人情報の取り扱いについて適切な体制が取られていることが必要であるため、①ISO9001(2015版以上)を取得しており、かつ更新した実績を有すること、②プライバシーマークを取得しており、かつ更新した実績を有すること、③ISO27001(2013版以上)を取得しており、かつ更新した実績を有すること、④本調達と同規模のシステム構築経験を実施組織・部門が自らの経験として有していること、⑤開発に当たっては、当該システムを十分に理解・解析し、整合性のあるシステムとすること。また、システムは特定メーカーの機器に依存しないものとする、⑥過去にCC(ISO/IEC 15408)に基づく評価・認証を取得した製品を含むシステムを導入した実績を有すること、⑦大学入試センター情報統括責任者(CIO)補佐官及び支援スタッフ業務についてCIO補佐官等が現に所属する又は過去2年間に属していた事業者及びその関連事業者でないこと、⑧一度の受験者数が10万人以上の試験用のシステム及びデータ件数が20万件以上の答案データ等の処理ができるシステム(大学入試以外の資格、検定等も含む)又はこれと類似した個人情報を取り扱う高セキュリティかつ短期間高負荷の処理ができる教育関係のシステムの設計・開発、システム移行、総合テストの実績を有することを要件とした。	政府調達 総合評価
5	令和8年度大学入学共通テスト電子出願システム問い合わせ対応 専門人材派遣業務一式	株式会社リージェンシー	一般競争入札	3,883,173	2	個人情報の取り扱いについて適切な体制が取られていることが必要であるため、プライバシーマーク、ISMS等の認証を取得しており、適切な情報セキュリティが確保されている体制を有していることを要件とした。	単価契約

No	契約件名	契約の相手方	契約方式	契約金額(円)	応札(応募)者数		備考
6	業務システム情報関連機器等の運用管理支援業務	株式会社ニーズウェル	一般競争入札	38,544,000	3	本調達には情報システムの安全性、信頼性、利便性の向上等を確保するために業務システムを構成し、ネットワーク・サーバ・パソコン等の管理・運用に必要な支援業務を行うものであり、適切に行われないと、業務に多大な影響を与えること、また、個人情報の取り扱いについて適切な体制が取られていることが必要であるため、①品質マネジメントシステムISO9001を取得又はこれと同等の規格を有していること、②情報セキュリティマネジメントシステムISO/IEC27001又はJIS Q27001に基づく認証を取得していること、③組織的に個人情報保護を行っていることの証明として、プライバシーマーク又は同等の認証を取得していること、④過去5年で公的機関又は高等教育機関を対象とした同規模(200人)以上の運用支援業務の実績を有すること⑤センターの情報統括責任者(CIO)補佐官業務又は支援スタッフ業務を受託していないことを要件とした。	政府調達技術審査
7	大学入試センター本館事務用電話交換設備更新工事	株式会社エクシオテック	一般競争入札	14,443,000	3	①文部科学省における「一般競争参加者の資格」(平成13年1月6日文部科学大臣決定)第1章第4条で定めるところにより格付けした電気通信工事に係る令和7、8年度の等級(一般競争(指名競争)参加資格認定通知書)の記2の等級が、A又はB等級の認定を受けていること。 ②平成22年度以降に元請けとして完成・引き渡し完了した、電話交換設備(内線回線容量150回線以上)の新設又は更新工事を施工した実績を有すること。 ③2級電気通信工事施工管理技士又はこれと同等以上の資格を有する者を主任技術者又は監理技術者を該当工事に配置できること。(当該工事の配置予定技術者は、専任を必要としない。)	
8	令和8年度大学入学共通テスト 受験上の配慮申請書データ作成業務 一式	株式会社教育測定研究所	不落随意契約	2,970,000	1	本調達は高度な入力技術を必要とし、個人情報の取り扱いについて適切な体制が取られていることが必要であるため、①令和3年度から令和6年度までに同種の業務を履行した実績を有すること、②情報セキュリティ関連の認証(ISMS, ISO/IEC27001, JISQ27001)または一般財団法人日本情報経済社会推進協会が認定するプライバシーマークを取得していることを要件とした。	不落随意
9	令和8年度大学入学共通テスト 監督要領の印刷・製本 一式	三松堂印刷株式会社	一般競争入札	12,546,776	2	無	
10	大学入試センター事業第三課 電子出願システム等情報処理システム運用業務、大学入学共通テスト採点・成績処理業務等担当スタッフ派遣業務 一式	株式会社リプライム	一般競争入札	2,535,543	4	個人情報の取り扱いについて適切な体制が取られていることが必要であるため、プライバシーマーク、ISMS等の認証を取得しており、適切な情報セキュリティが確保されている体制を有していることを要件とした。	単価契約
11	令和8年度大学入学共通テスト用 受験状況調査票[A票]等の印刷・印字業務 一式	株式会社教育測定研究所	一般競争入札	8,470,000	1	①情報セキュリティマネジメントに関する国際規格ISO/IEC 27001:2022 又はプライバシーマーク若しくはそれに相当するものを取得していること、②過去3年以内(令和4年度～令和6年度)に、国公私立大学(短期大学を含む)、高等学校又は各種試験・模擬試験等のマークシート形式の解答用紙の印刷・データ印字業務を、一度の発注で10万枚以上受注した実績が複数回あることを要件とした。	

No	契約件名	契約の相手方	契約方式	契約金額(円)	応札(応募)者数		備考
12	令和8年度大学入学共通テスト試験関係資料の仕分及び運送業務 一式	佐川グローバルロジスティクス株式会社	一般競争入札	7,657,501	2	①個人情報の取り扱いについて適切な体制が取られていることが必要であるため、プライバシーマーク、ISMS等の認証を取得していること、②信書の運送について、認可を受けている特定信書便事業者であることを要件とした。	単価契約
13	令和8年度大学入学共通テスト用 受験番号票の印刷・印字業務	電算紙株式会社	一般競争入札	6,251,300	1	個人情報の取り扱いについて適切な体制が取られていることが必要であるため、情報セキュリティマネジメントに関する国際規格ISO/IEC 27001:2022 又はプライバシーマーク若しくはそれに相当するものを取得していることを要件とした。	
14	大学入試センター本館西側増築棟外壁改修工事	株式会社イノベート	一般競争入札	10,080,746	4	①文部科学省における「一般競争参加者の資格」(平成13年1月6日文部科学大臣決定)第1章第4条で定めるところにより格付けした建築一式工事に係る令和7、8年度の等級(一般競争(指名競争)参加資格認定通知書)の記2の等級が、A、B、C又はD等級の認定を受けていること。 ②平成22年度以降に元請けとして完成・引き渡し完了した、校舎、庁舎、又は研究施設の新営又は改修した工事を施工した実績を有すること。 ③2級建築施工管理技士又はこれと同等以上の資格を有する者を主任技術者又は監理技術者を該当工事に配置できること。(当該工事の配置予定技術者は、専任を必要としない。)	
15	大学入試センター本館自家発電設備(300kVA)改修工事	東陽電気工事株式会社	一般競争入札	76,780,000	1	①文部科学省における「一般競争参加者の資格」(平成13年1月6日文部科学大臣決定)第1章第4条で定めるところにより格付けした電気工事に係る令和7、8年度の等級(一般競争(指名競争)参加資格認定通知書)の記2の等級が、A又はB等級の認定を受けていること。 ②平成22年度以降に元請けとして完成・引き渡し完了した、100kVA以上の自家発電設備工事又は受変電設備工事を施工した実績を有すること。 ③1級電気工事施工管理技士又はこれと同等以上の資格を有する者を主任技術者又は監理技術者を該当工事に配置できること。	
16	2026年発行外国雑誌の購入	株式会社紀伊國屋書店	一般競争入札	2,919,521	2	無	
17	大学入試センター本館受変電設備改修工事	東陽電気工事株式会社	一般競争入札 (不落随意契約)	10,670,000	2	①文部科学省における「一般競争参加者の資格」(平成13年1月6日文部科学大臣決定)第1章第4条で定めるところにより格付けした電気工事に係る令和7、8年度の等級(一般競争(指名競争)参加資格認定通知書)の記2の等級が、A、B又はC等級の認定を受けていること。 ②平成22年度以降に元請けとして完成・引き渡し完了した、高圧受変電設備の新設又は改修工事を施工した実績を有すること。 ③2級電気工事施工管理技士又はこれと同等以上の資格を有する者を主任技術者又は監理技術者を該当工事に配置できること。(当該工事の配置予定技術者は、専任を必要としない。)	

No	契約件名	契約の相手方	契約方式	契約金額(円)	応札(応募)者数		備考
18	業務用電子計算機システム借上げ及び運用保守業務	富士通Japan株式会社 株式会社JECC	一般競争入札	836,880,000	1	<p>本件は、「公共サービス改革基本方針」(平成25年6月14日閣議決定)別表において民間競争入札の対象として選定された案件であるため、公共サービス改革基本方針に従い次の事項を要件とした。</p> <p>①適切な品質管理体制を保証するものとしてISO9001の認証を取得していること。環境負荷軽減への取り組みを組織的に行っていることの証明としてISO14001を取得していること。また、情報セキュリティについて、ISO27001の認証あるいは、プライバシーマークを取得していること、②法人税並びに消費税及び地方消費税の滞納がないこと、③労働保険、厚生年金保険等の適用を受けている場合、保険料等の滞納がないこと、④文部科学省及び他府省等における物品等の契約に係る指名停止措置要領に基づく指名停止を受けている期間中でないこと、⑤要求仕様書の作成に直接関与した事業者及びその関連事業者(「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号)第8条に規定する親会社及び子会社、同一の親会社をもつ会社並びに委託先事業者等の緊密な利害関係を有する事業者をいう。)でないこと、⑥大学入試センター情報化統括責任者(CIO)補佐官及びその支援スタッフ業務について、CIO補佐官等が現に所属する又は過去2年間に属していた事業者及びその関連事業者ではないこと。</p>	政府調達 総合評価
19	令和8年度・9年度光学式マーク読取システム等保守一式	日本タタ・コンサルタンシー・サービス(株)	一般競争入札	136,417,142	1	<p>①組織的に品質管理を行っていることの証明として、品質マネジメントシステム[QMS](ISO9001:2008版以上)を取得していること。実績の継続性確保のため更新した実績を有すること、②組織的に個人情報保護を行っていることの証明として、セキュリティマネジメントにかかる公的資格であるプライバシーマーク、またはISO/IEC27001(ISMS適合性認証)を取得していること。実績の継続性確保のため更新した実績を有すること、③保守期間中、保守部品の供給・取得ができ、保守メンテナンスできることを要件とした。</p>	政府調達
20	パソコン用ソフトウェアライセンス等の更新	株式会社ヤマダデンキ	一般競争入札	7,447,649	2	無	
21	大学入試センターWEBサイト公開のためのサーバー環境の構築	株式会社ジェイオーシーネットワーク	一般競争入札	10,648,000	3	ISO/IEC27001(情報セキュリティマネジメントシステム適合性評価制度)の認証を取得しているか、又はこれと同等のものを有していることを要件とした。	
22	大学入試センター自家発電機等機械基礎他工事	松本建設株式会社	一般競争入札 (不落随意契約)	30,800,000	1	<p>①文部科学省における「一般競争参加者の資格」(平成13年1月6日文部科学大臣決定)第1章第4条で定めるところにより格付けした建築一式工事に係る令和7、8年度の等級(一般競争(指名競争)参加資格認定通知書)の記2の等級が、A、B、C又はD等級の認定を受けていること。</p> <p>②平成22年度以降に元請けとして完成・引き渡し完了した、校舎、庁舎、又は研究施設の新営又は改修した工事を施工した実績を有すること。</p> <p>③2級建築施工管理技士又はこれと同等以上の資格を有する者を主任技術者又は監理技術者を該当工事に配置できること。(当該工事に配置予定技術者は、専任を必要としない。)</p>	一般競争入札 (不調不落 随意契約)

No	契約件名	契約の相手方	契約方式	契約金額(円)	応札(応募)者数		備考
23	令和8年度コピー用紙の調達	西ノ宮株式会社	一般競争入札	1,745,392	5	無	単価契約 共同調達
24	業務用電子計算機システム用の端末等の購入	富士電機ITソリューション株式会社	一般競争入札	41,646,000	1	無	政府調達 技術審査
25	大学入学共通テストに係る電子出願システム改修業務	株式会社ニーズウェル	一般競争入札	98,230,000	2	本調達は、約50万人の志願者が問題なく電子出願を行うためのシステムに関し、令和8年度大学入学共通テスト実施に向けたシステム改修を行うためのものであり、業務が適切に行われないと、業務に多大な影響を与えるため、①大学入試センター情報統括責任者(CIO)補佐官業務又は支援スタッフ業務についてCIO補佐官等が現に所属する又は過去2年間に属していた事業者及びその関連事業者でないこと、②大学入試センターIT推進支援業務を受託し、係る役務提供により本調達を支援した事業者でないこと、③組織的に品質管理を行っていることの証明として、品質マネジメントシステムISO9001:2000版以上を取得していること、④ISO27001(2005版以上)の認証を取得していることを要件とした。	政府調達 技術審査
26	令和8年度新聞クリッピング業務一式	株式会社東京CLIPS	一般競争入札	2,609,508	3	無	
27	大学入学共通テストに係る電子配慮申請システム(仮称)開発及び電子出願システムの一部改修一式	富士通Japan株式会社	一般競争入札	329,560,000	1	①「ISO9001:2015」の認証を受けていること又は同等の品質管理体制を保持していること、②本業務の実施組織・部門が「ISO/IEC27001:2013 認証(国際標準)/JIS Q27001:2014 認証(日本工業標準)」又は「ISO/IEC27001:2022 認証(国際標準)/JIS Q27001:2023 認証(日本工業標準)」を取得していること、③Webアプリケーションを構築した実績を過去3年以内に有すること、④応札者は、インターネット公開された10万人以上の利用者が利用するデータベース機能を有する情報システムの設計・開発を行った公的機関の実績を過去3年以内に有することを要件とした。	政府調達 総合評価
28	試験情報システムクラウド化に伴う非互換調査	富士通Japan株式会社	一般競争入札	17,930,000	1	①ISO9001(2015版以上)を取得しており、かつ更新した実績を有すること又は同等の品質管理体制を保持していること、②プライバシーマークを取得しており、かつ更新した実績を有すること、③ISO27001(2013版以上)を取得しており、かつ更新した実績を有すること、④本業務の遂行に必要な関連知識、十分なシステム開発・設計能力、マネジメント能力、プロジェクト管理能力を有し、本調達と同規模のシステム構築経験を実施組織・部門が自らの経験として有していること、⑤検証に当たっては、当該システムを十分に理解・解析し、整合性のあるシステムとすること、⑥過去にCC(ISO/IEC 15408)に基づく評価・認証を取得した製品を含むシステムを導入した実績を有すること、⑦大学入試センター情報統括責任者(CIO)補佐官及びその支援スタッフ業務についてCIO補佐官等は現に所属する又は過去2年間に属していた事業者及びその関連事業者でないこと、⑧大学入試センターIT推進支援業務を受託し、係る役務提供により本調達を支援した事業者又は過去2年間に属していた事業者及びその関連事業者でないこと、⑨一度の受験者数が10万人以上の試験用のシステム及びデータ件数が20万件以上の答案データ等の処理ができるシステム(大学入試以外の資格、検定等も含む)又はこれと類似した個人情報を取り扱う高セキュリティかつ短期間高負荷の処理ができる教育関係のシステムの設計・開発、システム移行、総合テストの実績を有すること。なお、請負契約にて開発、稼働させた実績を有すること。	技術審査
	28件			2,561,053,861			

○ 企画競争、公募等

No	契約件名	契約相手方	契約方式	契約金額(円)	随契理由	備考
1	令和8年度大学入学共通テスト英語リスニング用音声機器等賃貸借・輸送等業務	—	企画競争	1,331,363,850	企画競争による選定	秘密
2	会計監査人による監査契約	有限責任監査法人トーマツ	企画競争	7,700,000	企画競争による選定	
3	令和8年度大学入学共通テストモニター調査会場借上げ等 一式	株式会社エヌ・ティ・ティ・データ・ユニバーシティ	公募	3,413,520	随契事前確認公募の結果、条件を満たす応募者が相手方以外に無かった為	
	3件			1,342,477,370		

○ 競争性のない随意契約

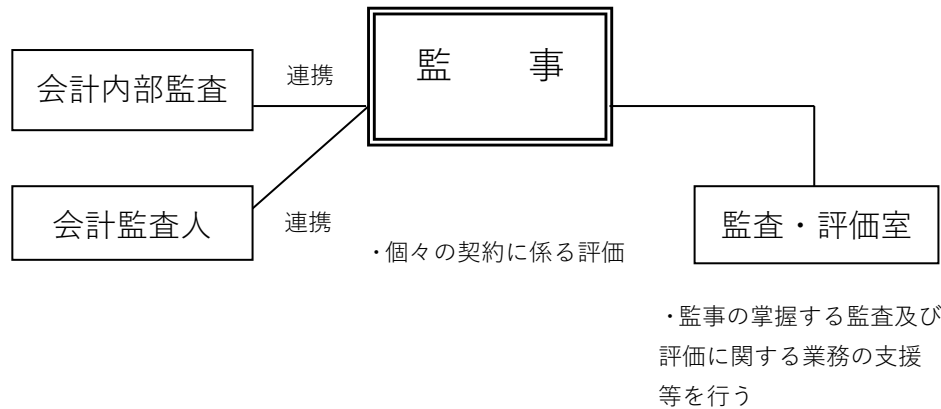
No	契約件名	契約の相手方	契約方式	契約金額(円)	随契理由	備考
1	令和8年度大学入学共通テスト「英語(リスニング)」用音源制作業務	—	随意契約	2,435,688	秘密	
2	「令和8年度大学入学共通テスト点字試験問題冊子等」印刷・製本	—	随意契約	28,814,417	秘密	単価契約
3	令和8年度大学入学共通テスト 試験問題冊子等の印刷(個別契約)	—	随意契約	1,565,665,998	秘密	
4	大学入試センター本館入退室管理設備改修工事	株式会社クマヒラ	随意契約	24,354,000	契約の性質又は目的が競争を許さない。	
5	仮想基盤変更に伴う財務会計システム動作検証	株式会社NTTデータ・アイ	随意契約	4,565,000	契約の性質又は目的が競争を許さない。	
6	令和8年度検定教科書の購入	東京教科書供給株式会社	随意契約	5,928,011	契約の性質又は目的が競争を許さない。	
7	大学入試センター施設等の警備	—	随意契約	81,497,223	秘密	
8	特殊印刷物等の運送及びこれに附帯する業務	—	随意契約	237,508,084	秘密	単価契約
9	倉庫賃貸借	—	随意契約	285,417,216	秘密	
10	特殊印刷物等の輸送・返送に伴う警備	—	随意契約	101,669,970	秘密	単価契約
	10件			2,337,855,607		

【資料 18】一者応札・応募の契約一覧

No	契約件名	契約の相手方	契約方式	契約金額(円)	一者応札の理由
1	大学入学共通テストに係る電子出願システム保守業務	富士通Japan株式会社	一般競争入札 (総合評価)	284,856,000	本契約は、既存の電子出願システムの保守業務を行うことから、既に現システムに精通している構築契約業者以外が敬遠したと考えられ、結果として応札が一者であった。
2	大学入学共通テストに係る電子出願システム Microsoft Azureライセンス提供業務 一式	株式会社フォーカスシステムズ	一般競争入札	188,045,000	入札説明書等を受領し入札参加申請に至らなかった他社へヒアリングしたところ、スケジュール的に対応が厳しいとの理由から結果、応札者が一者であった。
3	試験情報システム改修業務及び運用支援業務	富士通Japan株式会社	一般競争入札 (総合評価)	365,750,000	本契約は、既存の試験情報システムの改修業務及び機能追加を行うことから、既に現システムに精通している前回契約業者以外が敬遠したと考えられ、結果として応札が一者であった。
4	令和8年度大学入学共通テスト 受験上の配慮申請書データ作成業務 一式	株式会社教育測定研究所	一般競争入札 (不落随意契約)	2,970,000	本契約は、業務の性質上非常に短期間で作業を行うことが必要なことから、契約業者以外が対応できないと判断した結果、応札が一者であった。
5	令和8年度大学入学共通テスト用 受験状況調査票[A票]等の印刷・印字業務 一式	株式会社教育測定研究所	一般競争入札	8,470,000	本契約は、試験の実施に直接かかわる印刷物に関する製造のため、受注者の要件として、過去の受注実績が満たせないことから、結果として応札が一者であった。
6	令和8年度大学入学共通テスト用 受験番号票の印刷・印字業務	電算紙株式会社	一般競争入札	6,251,300	本契約は、試験の実施に直接かかわる印刷物に関する製造のため、短納期かつ受注者の要件として作業場所を本件専用にするとしていたことから、結果として応札が一者であった。
7	大学入試センター本館自家発電設備(300kVA)改修工事	東陽電気工事株式会社	一般競争入札	76,780,000	入札説明書等を受領し入札参加申請に至らなかった他社へヒアリングしたところ、①「技術者の配置が難しかった。」②「協力会社の確保が難しかった。」との理由から結果、応札者が一者であった。

No	契約件名	契約の相手方	契約方式	契約金額(円)	一者応札の理由
8	令和8年度大学入学共通テストモニター調査会場借上げ等 一式	株式会社エヌ・ティ・ティ・データ・ユニバーシティ	公募	3,413,520	本契約は、大学入学共通テストモニター調査を実施するに当たっての会場の借上げを行う調達であるが、大学入試センターから徒歩10分以内の会場を条件としていたことから、随契事前公募を行ったところ、参加意思を示したのが一者のみであったため、その者と随意契約を締結した。
9	業務用電子計算機システム借上げ及び運用保守業務	富士通Japan株式会社 株式会社JECC	一般競争入札 (総合評価)	836,880,000	本契約は、業務用電子計算機システム借上げ及び運用保守業務を行う調達であるが、業務の内容・規模などから人員確保困難等により、結果として応札が一者であった。
10	令和8年度・9年度光学式マーク読取システム等保守 一式	日本タタ・コンサルタンシー・サービス(株)	一般競争入札	136,417,142	本契約は、既存のシステムの保守業務を行うことから、既に現システムに精通している前回契約業者以外が敬遠したと考えられ、結果として応札が一者であった。
11	大学入試センター自家発電機等機械基礎他工事	松本建設株式会社	一般競争入札 (不調不落随意契約)	30,800,000	本契約は、別途契約の本館自家発電設備(300kVA)改修工事に必要な機械基礎等を構築する工事で、入札参加者1者が辞退したことに伴い入札不調となったもの。そのため、見積合わせによる随意契約に移行し、見積徴収にあたっては過去に本センターでの工事実績のあった業者に依頼し、松本建設株式会社から契約可能との回答を得、随意契約を行ったもの。また、入札辞退者よりヒアリングしたところ「年度末に向けての施工のため協力会社の確保が難しかった。」との理由であった。
12	業務用電子計算機システム用の端末等の購入	富士電機ITソリューション株式会社	一般競争入札	41,646,000	本契約は、業務用電子計算機システム用のノートパソコンの調達であるが、部材不足、部材価格高騰、為替の影響により応札者以外の業者による調達が困難となったことにより、結果として応札が一者であった。
13	大学入学共通テストに係る電子配慮申請システム(仮称)開発及び電子出願システムの一部改修一式	富士通Japan株式会社	一般競争入札 (総合評価)	329,560,000	本契約は、電子配慮申請システムの開発を行うとともに、既存のシステムの改修を行うことから、既に現システムに精通している既存システム開発業者以外が敬遠したと考えられ、結果として応札が一者であった。
14	試験情報システムクラウド化に伴う非互換調査	富士通Japan株式会社	一般競争入札	17,930,000	本契約は、既存のシステムの非互換調査を行うことから、構築業者以外が敬遠したと考えられ、結果として応札が一者であった。

【資料 19】 契約行為における監事監査のチェック体制図



○ 監事による個々の契約の合規性等に係るチェックプロセス

(1) 月次監査

- ① 会計に関して毎月行う月次監査において、監査対象月に締結した 100 万円以上の契約について監査
- ② 個別具体的チェック方法
 - ・ 国と同じ少額随意契約基準額である会計規定を遵守し、一般競争入札等を実施しているか
 - ・ 少額随意契約基準額を超える随意契約の場合、会計規定の随意契約基準を遵守し、かつ真にやむを得ない場合であるか

(2) 年次監査

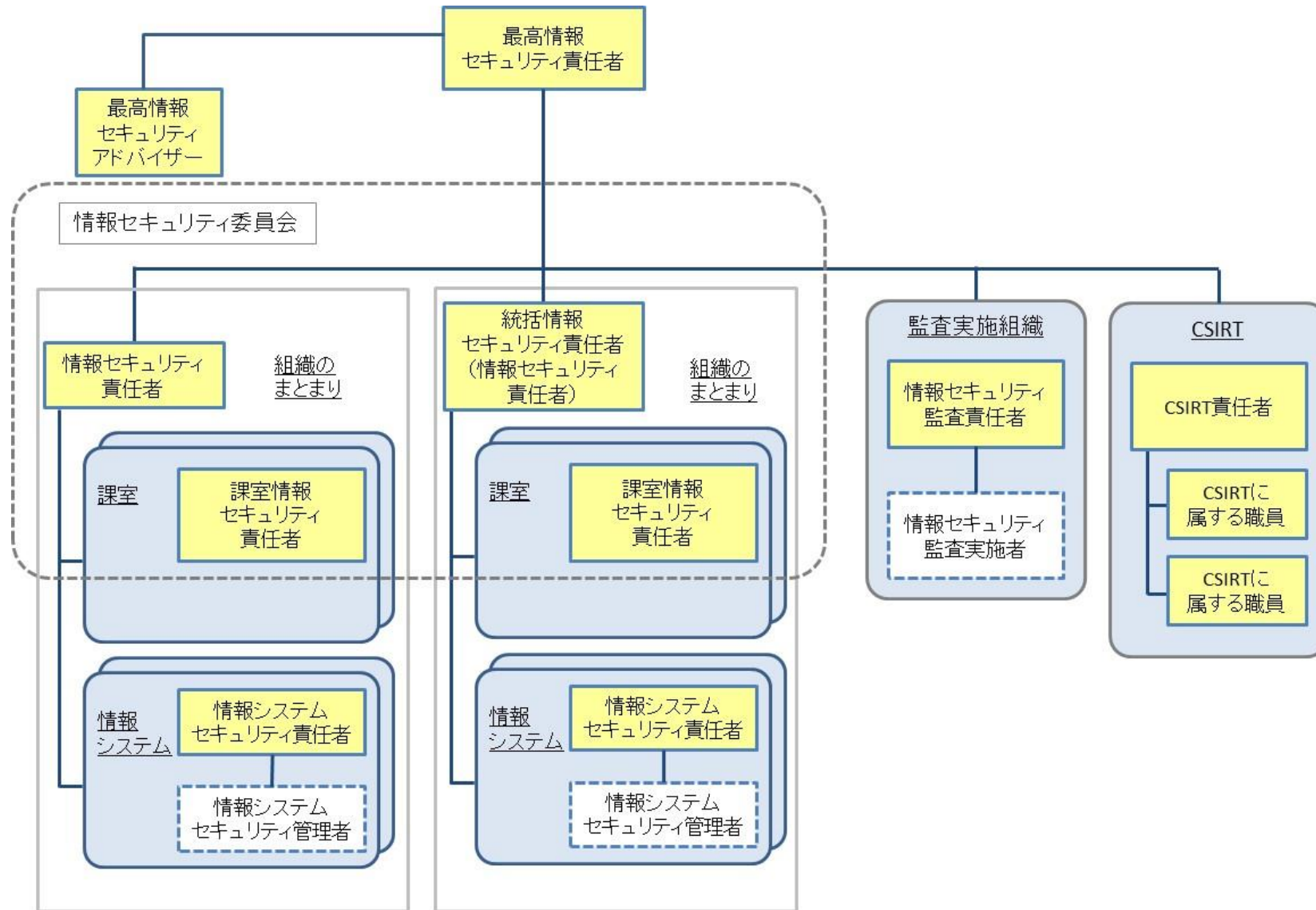
- ① 国と同じ少額随意契約基準額を超える契約について監査
- ② 個別具体的チェック方法
 - ・ 国と同じ少額随意契約基準額である会計規定を遵守し、一般競争入札等を実施しているか
 - ・ 少額随意契約基準額を超える随意契約の場合、会計規定の随意契約基準を遵守し、かつ真にやむを得ない場合であるか

【資料 20】 監事監査実績

実施月	業務監査等の実績
4月	非常勤監事と令和7年度監査計画打合せ
	令和7年度監査計画案作成
	理事長に令和7年度監査計画書を提出
	第381回RDセミナー(Zoom)に参加
	大学入学者選抜協議会(第18回)(Zoom)傍聴
	役員会議(第1回)に出席、監事監査計画を説明
	定時監事監査質問項目を各課へ通知
5月	新任職員説明会に出席
	定時監事監査質問項目の回答を受領
	各課に業務監査ヒアリングを実施
	監査法人による両監事への中間報告(令和6年度決算状況)
	大学入学共通テスト企画委員会(第31回)(Zoom)傍聴
	大学入学者選抜協議会(第19回)(Zoom)傍聴
役員会議(第2回)に出席	
6月	監査法人の令和6事業年度監査報告会に出席
	第383回RDセミナー(Zoom)に参加
	契約監視委員会(第1回)に出席
	令和6年度購入資産、物品実査を行う
	第1回運営審議会に陪席
	実施方法部会(第2回)(Zoom)傍聴
	令和6事業年度業務実績報告書を監査
	非常勤監事と定時監事監査報告書と令和6年度監査報告を確認
	定時監査報告書と令和6年度監査報告を作成
	理事長に定時監査報告書と令和6年度監査報告を説明
	理事長に定時監査報告書と令和6年度監査報告を提出
	役員会議(第3回)に出席、定時監査報告書と令和6年度監査報告
7月	第384回RDセミナー(Zoom)に参加
	役員会議(第4回)に出席
	文部科学省による評価等に関する有識者会合に出席(Web)
8月	生成AIのビジネスへの応用セミナー(ウェビナー)に参加
	独立行政法人評価委員会法人ヒアリング
	第385回RDセミナー(Zoom)に参加

実施月	業務監査等の実績
9月	財務経営委員会(第1回)に陪席
	非常勤監事と中間監査打合せ
	理事長に中間監査実施を報告
	役員会議(第5回)中間監査実施を報告
10月	中間監査質問項目を各課へ通知
	実施方法部会(第4回)(Zoom)傍聴
	中間監査質問項目の回答を受領
	役員会議(第6回)に出席
11月	非常勤監事と中間監事監査報告について打合せ、確認
	中間監事監査報告を作成
	理事長に中間監事監査報告を提出
	役員会議(第7回)に出席、中間監査結果を報告
12月	令和8年度予算役員ヒアリングに出席
	契約監視委員会(第2回)に出席
	監査法人との経営者ディスカッションに出席
	大学入学者選抜協議会(第20回)(Zoom)傍聴
	独立行政法人、特殊法人等監事連絡会第3部会会合に出席
役員会議(第8回)に出席	
1月	令和8年度大学入学者選抜大学入学共通テスト本試験1日目及び2日目に立ち会い
	独立行政法人監事研修(Web)に参加
	得点調整打合せに陪席
	得点調整判定専門委員会に陪席
2月	得点調整判定委員会に陪席
	令和8年度大学入学者選抜大学入学共通テスト追再試験1日目及び2日目に立ち会い
	財務経営委員会(第2回)に陪席
	役員会議(第9回)に出席
3月	理事長裁量経費(調査研究等)外部評価ヒアリングに陪席
	実施方法部会(第5回)(Zoom)に陪席
	内部監査の総括報告を受ける
	独立行政法人、特殊法人等監事連絡会総会(書面)審議
	令和7事業年度計画を監査
	第2回運営審議会に陪席
大学入学共通テスト企画委員会(第32回)(Zoom)傍聴	
役員会議(第10回)に出席	

【資料 21】 独立行政法人大学入試センターの情報セキュリティ体制



【資料 22】独立行政法人大学入試センターにおける人事に関する基本計画について

(令和3年3月31日理事長裁定)

人事に関する基本的な計画を次のとおり策定し、人材の確保及び適正配置を行うとともに職員の資質向上を図るため、大学等との人事交流を行う。

また、大学等を取り巻く環境が変化する中で、独立行政法人大学入試センター（以下「センター」という。）が期待されている役割を担うために必要な能力や専門的能力を伸長させる研修等の人材育成に向けた取組を積極的に行う。

1. 人材の確保について

- (1) センターの将来を担うプロパー職員の計画的な採用を図る。
- (2) 高い専門的資質能力を備えた人材の確保の方策を検討する。
- (3) 「障害者の雇用の促進等に関する法律」（昭和35年法律第123号）及び障害者に対する差別の禁止に関する規定に定める事項に関し、事業主が適切に対処するための指針（平成27年厚生労働省告示第116号）を踏まえ、取り組む。
- (4) 「男女共同参画基本計画（第5次）」（令和2年12月25日閣議決定）を踏まえ、男女雇用機会均等の推進に努める。

2. 適正配置と人員の配分について

- (1) 組織の業務を精査し、必要に応じて組織の見直しを行い、センター全体として適正な人員の配分を行う。また、センターの業務の特殊性に配慮しつつ、必要に応じて外部委託等を活用するよう努める。
- (2) 業務の性質及び当該職員の能力・適性及び希望等を総合的に判断し、適切に職員を配置する。
- (3) 上位の職への登用に当たっては、適材適所によるとともに、意欲と能力のある優秀な職員の登用を着実に推進する。
- (4) 女性職員の指導的地位への登用と活躍の場の拡大に努める。

3. 人材育成について

- (1) 職員の異動については、センターの将来を担う専門的知識を持つ人材を育成するため、計画的に業務を経験させる。なお、異動の時期については、専門的知識の習得に配慮するとともに、特定の部署に偏らないよう努める。
- (2) 研修計画を策定し、企画力の向上及び専門知識の習得等を目的として、職員の職位、実務経験等に応じて、OJTのほか外部団体の研修プログラムも活用しながら、各種研修に職員を積極的に参加させるほか、職務に関連する専門的知識・理解を得ることを目的として、センターで企画・主催する研修についても内容の充実に努める。
- (3) 大学入試及び学校教育特に大学教育に関し、職員が専門的知識・理解を得ることを目的とした研修セミナーを開催する。
- (4) 職務に関連する知識の習得、資格取得を奨励する環境を整え、職員の自己啓発を促す。

4. 人事交流について

- (1) 国立大学等と計画的に人事交流を行い、その実施の過程を通して、交流職員の広い視野を養うとともに資質向上を図る。

5. 雇用環境整備について

- (1) 「次世代育成支援対策推進法」（平成15年法律第120号）及び「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」（平成27年法律第64号）を踏まえ、職業生活と家庭生活の両立のために、時間外勤務の縮減や年次有給休暇の計画的な使用について、積極的に取り組み、健康の保持・増進、ゆとりある生活の実現や業務能率の向上を図る。
- (2) 健康の保持増進
職員の心身の健康管理対策の充実に努める。

6. 給与水準について

- (1) 地域・学歴勘案ラスパイレズ指数が100を超えないように努める。

【資料 23】独立行政法人通則法に基づく情報公開実施状況（令和 7 年度）

項目	根拠法	実施状況
中期計画	通則法 第30条第4項	—
年度計画	通則法 第31条第1項	令和7年3月31日 文部科学大臣に令和7事業年度計画を届出
役員の任命	通則法 第20条第5項	—
財務諸表等	通則法 第38条第3項	令和7年6月27日 文部科学大臣に提出 令和7年7月30日 文部科学大臣が認可 令和7年8月 事務所に備え置くとともに、ウェブサイトに掲載 令和7年10月 官報公告
職員給与規則 職員退職手当 規則等	通則法 第50条の10 第2項	令和7年2月28日 役員給与規則、職員再雇用規則を一部改正 令和7年3月 文部科学大臣に役員給与規則、職員給与規則、職員再雇用規則を届出 令和7年3月27日 職員給与規則、職員再雇用規則を一部改正 令和7年4月 文部科学大臣に職員給与規則、職員再雇用規則を提出 令和7年7月29日 職員給与規則を一部改正 令和7年8月 文部科学大臣に職員給与規則を提出 令和7年11月27日 職員給与規則を一部改正 令和7年12月 文部科学大臣に職員給与規則を提出 令和8年2月2日 役員給与規則、職員給与規則、職員再雇用規則を一部改正 令和8年3月 文部科学大臣に役員給与規則、職員給与規則、職員再雇用規則を届出

	文部科学大臣へ 届出／認可申請	官報掲載	事務所 備え置き	ウェブサイト 掲載
役員の任命	—	—	—	—
業務方法書	○	—	○	○
中期計画	○	—	○	○
年度計画	○	—	○	○
事業報告書	○	—	○	○（一部を除く）
財務諸表	○	○	○	○
内部 規則	役員給与規則 役員退職手当規則	○	—	○
	職員給与規則 職員退職手当規則	○	—	○

【資料 24】令和 7 年度文部科学記者会発表日程

月日	発表形態	事項等
令和 7 年 6 月 6 日 (金)	資料提供	○令和 8 年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト実施要項
	資料提供	○令和 9 年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト出題教科・科目の出題方法及び大学入学共通テスト問題作成方針
6 月 20 日 (金)	資料提供	○令和 8 年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト 受験案内 ○令和 8 年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト 受験上の配慮案内
6 月 28 日 (金)	資料提供	○令和 7 年度大学入学共通テスト問題評価・分析委員会報告書 (本試験) ○令和 7 年度大学入学共通テスト問題評価・分析委員会報告書 (追・再試験) ○令和 7 年度大学入学共通テスト試験情報データ (本試験) ・設問別得点率及び正答率 ・科目別成績分布
7 月 1 日 (火)	資料提供	○令和 8 年度大学入学共通テストの出願に係るマイページ作成開始について
9 月 16 日 (火)	資料提供	○令和 8 年度大学入学共通テストの出願開始について ○令和 8 年度大学入学共通テストの出願状況 (受付初日)
9 月 25 日 (木)	資料提供	○令和 8 年度大学入学共通テストの出願状況 (受付中間日)

月日	発表形態	事項等
10 月 3 日 (金) (受付最終日)	資料提供	○令和 8 年度大学入学共通テストの出願状況 (受付最終日)
12 月 5 日 (金)	資料提供	○令和 8 年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト受験上の注意
12 月 9 日 (火)	資料提供	○令和 8 年度大学入学共通テストの志願者数等について【志願者数、利用大学数、試験場一覧】
令和 8 年 1 月 17 日 (土) 1 月 18 日 (日)	記者レク (センター 1 F 会議室)	○令和 8 年度大学入学共通テスト本試験の受験状況等について【受験者数等、試験問題、正解等】
1 月 21 日 (水)	資料提供	○令和 8 年度大学入学共通テスト追・再試験の実施について
	資料提供	○令和 8 年度大学入学共通テスト (本試験) 平均点等一覧 (中間集計)
1 月 23 日 (金)	資料提供	○令和 8 年度大学入学共通テストの得点調整実施の有無について
	資料提供	○令和 8 年度大学入学共通テスト 段階表示換算表
1 月 26 日 (月)	資料提供	○令和 8 年度大学入学共通テスト 追試験の受験許可事由別の内訳人数
	資料提供	○令和 8 年度大学入学共通テスト 追・再試験受験状況【受験者数等、試験問題、正解等】
2 月 5 日 (木)	資料提供	○令和 8 年度大学入学共通テスト実施結果の概要【受験者数、科目別平均点等、現役志願率】